

社会やビジネスに新たな価値 を生み出すソフトウェア工学

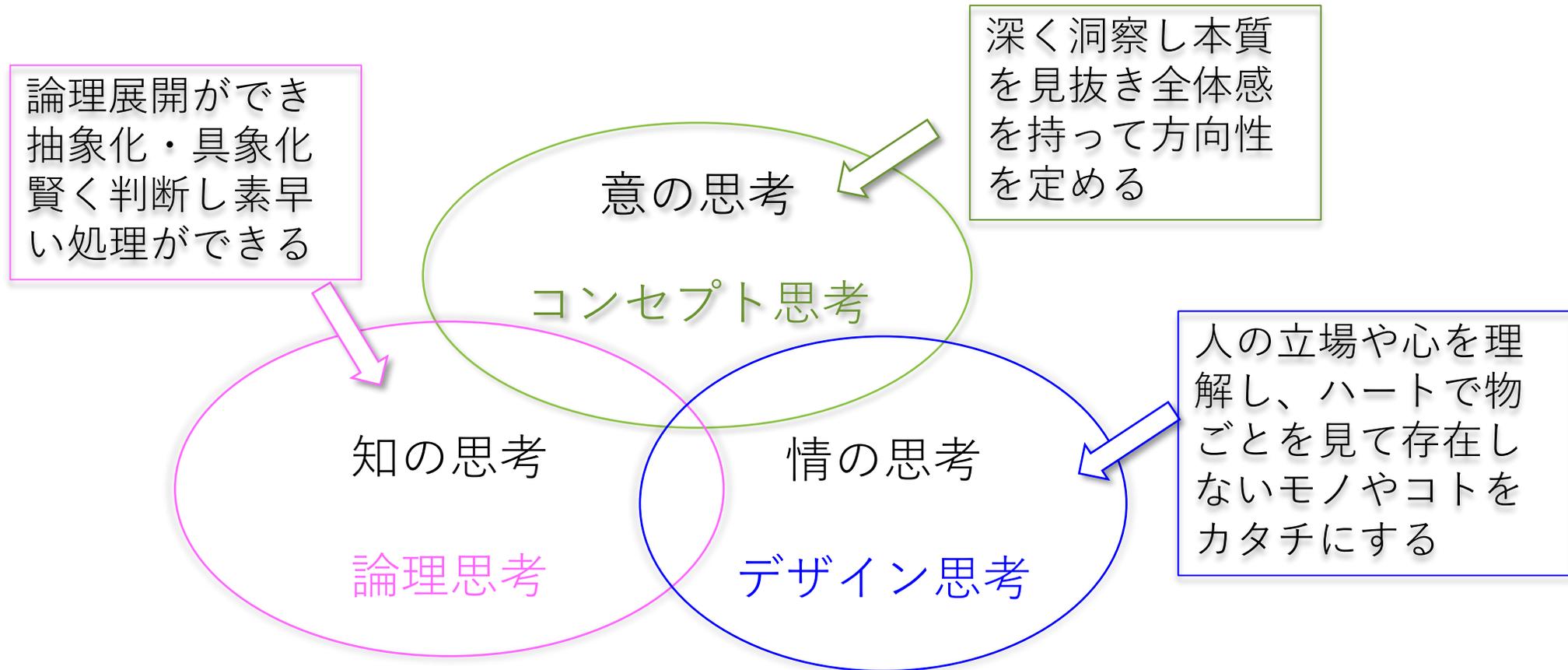
SE4BS(Software Engineering for Business and Society)



知情意を表現するモデルの相互作用とその原理 プロローグ

萩本 順三

株式会社 匠 Business Place
代表取締役 会長, Methodologist



狙いが明確で、実現までの説明が分かりやすいが、視野が狭く、あまり魅力を感じない

狙い自体には魅力を感じるが、視野が狭く、アイデアに具現化できない

意の思考

コンセプト思考

狙いと発想力が豊かで分かりやすく魅力的であるが、深い説明ができない

知の思考

論理思考

情の思考

デザイン思考

魅力的な言葉やデザインはあるが、具体的なアイデアやビジネスに落ちない

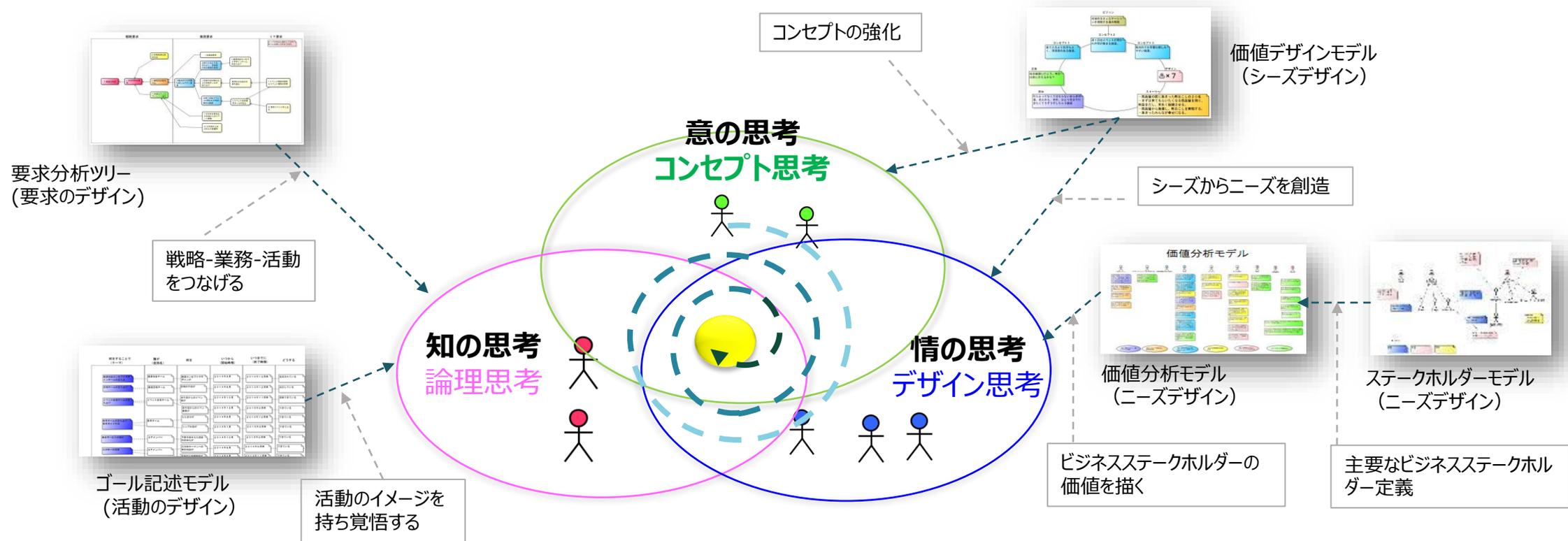
論理的な展開ができるが、手段思考に、はしりがち

魅力的かつ説明的であるが、まとまりが感じられない

夏目漱石、『草枕』の冒頭

「山路（やまみち）を登りながら、こう考えた。
知に働けば角が立つ、**情**に棹（さお）させば流される。**意**地を通せば窮屈だ。とにかく人の世は住みにくい。」

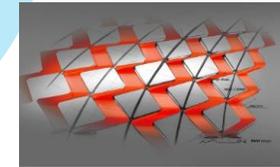
匠Methodで共創型ビジネスを創る（3つの思考との関係）



もの・こと創りの本質



良いものを捉える人の感性は、
芸術と何も変わらない！



創り手と
受け手の
心の共鳴

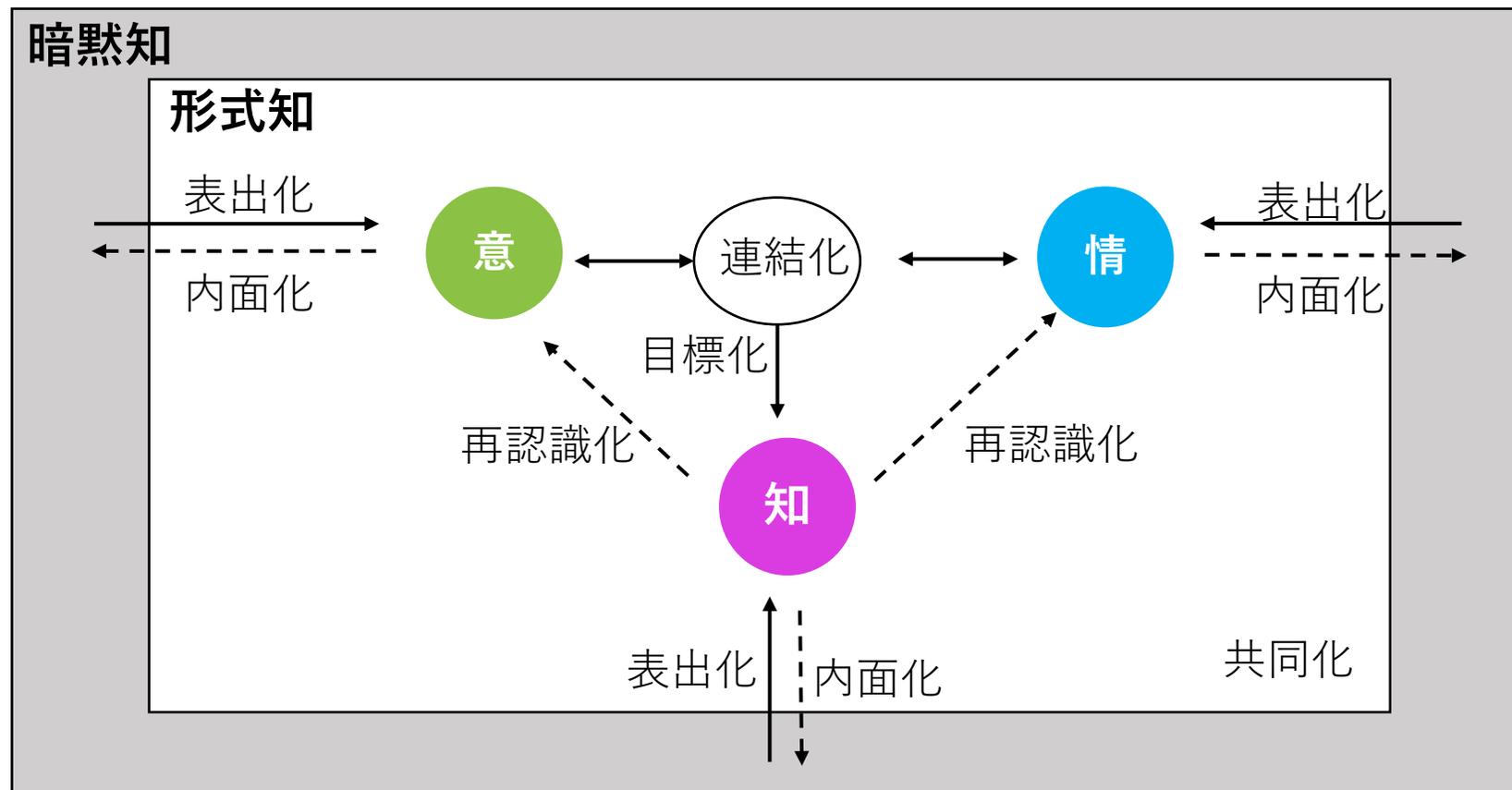
機能やスペックを知り乗って体感
「納得する」



見て触って「感じる」

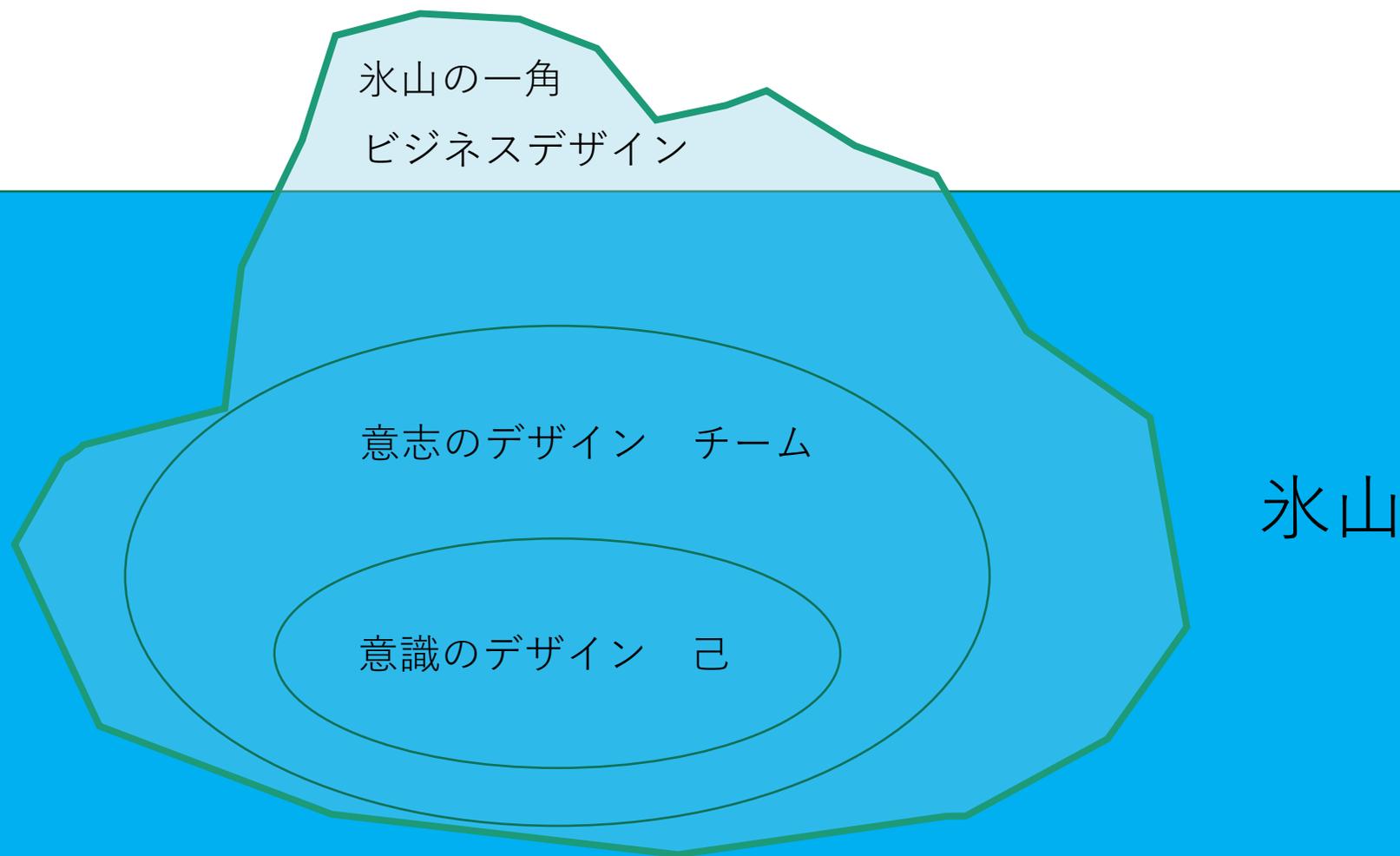
野中郁次郎氏の提唱するSECIモデルの言葉を参考にしています。

- ・匠Methodの場合は形式知上全体で共同化する（企画行為の共同体験）
- ・目標化と再認識化（フィードバック）は形式知上での行為となるため新たな用語を用いた



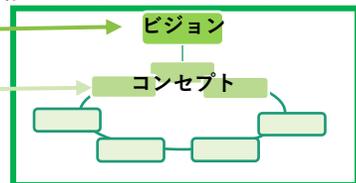
匠Methodは価値をデザインするだけでなく
己と組織の価値観をデザインしている

海の中に沈む部分が、ビジネスデザインの発想を豊かにし、未来に向けた継続的なデザインにつながる。



意

価値デザインモデル

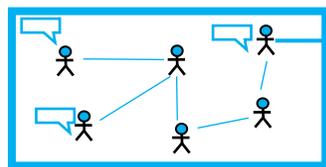


ビジョン

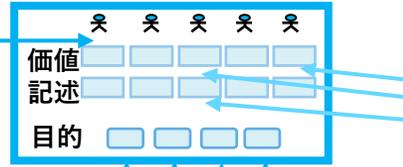
コンセプト

情

ステークホルダーモデル



価値分析モデル



目的

手段部分
を要求化

知を蓄積してこそ、やりたいことを実現できる

情を広くしてこそ、人を集め情熱を共有することができる

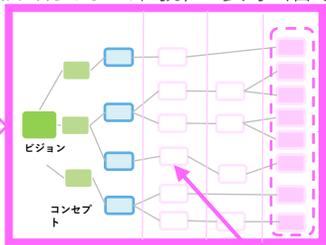
意を持ち続けてこそ、高い志を貫ける

それぞれの強化が、それぞれを強くする

知

要求分析ツリーの骨格を作成

戦略要求 業務/IT要求 活動

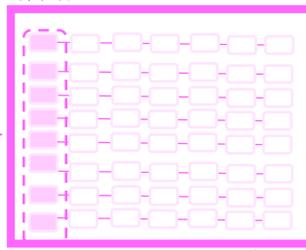


要求分析ツリー

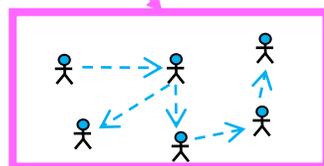
活動

業務活動
の1シーン

活動



ゴール記述モデル



ビジネスコンテキストフロー



匠には誰もがなれるわけではない
匠を目指そうとするものだけに、その権利は与えられる

